

令和4年度

# 重要文化財

## 和歌山県大日山 35 号墳出土品の保存修理

和歌山県立紀伊風土記の丘では、重要文化財和歌山県大日山 35 号墳出土品の保存・活用を実施しており、このうち主要な埴輪及び須恵器の展示・公開をおこなっています。これらの出土品の一部では、今後の適切な保存と活用のために、令和4年度より順次、抜本的な修理をおこなう保存修理事業を実施しています。

### 和歌山県大日山 35 号墳出土品 (平成 28 年 8 月 17 日指定)

特別史跡岩橋千塚古墳群に所在する県内最大級の前方後円墳 大日山 35 号墳 (6世紀前半に築造) から出土した埴輪と須恵器の一括資料です。

特に埴輪は多種多量であり、両面に顔を持つ人物埴輪や翼を広げた鳥形埴輪はここでのみ確認されている貴重な資料です。古墳墳丘上での儀礼の実態を考えるうえでも、高い学術的価値を持っています。なお、大日山 35 号墳は、墳丘の一部について復元整備が実施され、現地に埴輪のレプリカが設置されています。



両面人物埴輪 \*写真は同一個体の各面



須恵器 甕・大甕

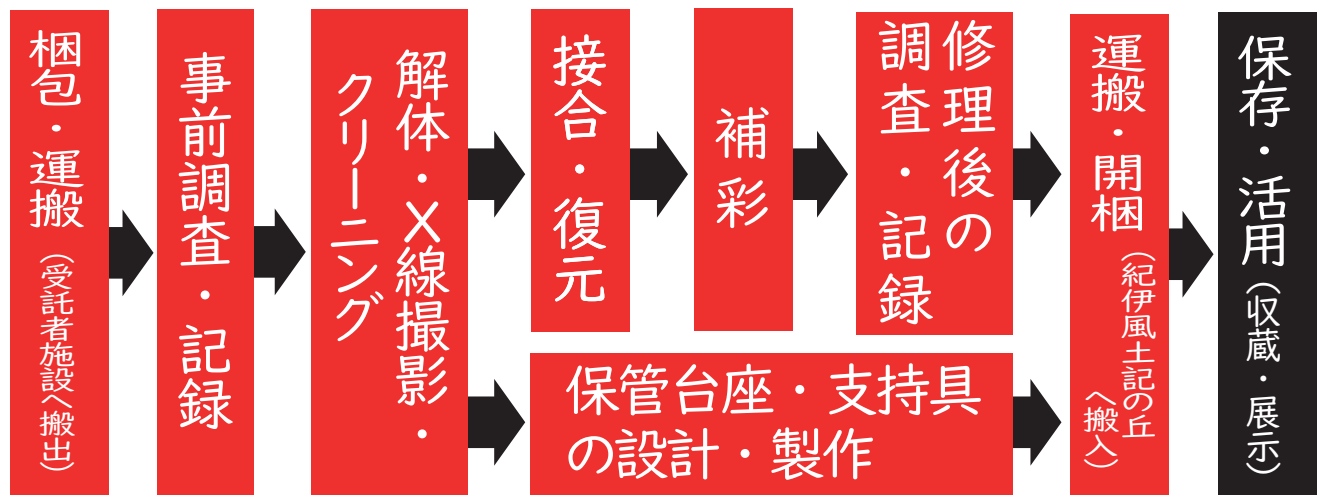


大日山 35 号墳東造り出し整備状況

※ 3 分割焼成の家形埴輪、胡籙形埴輪は、保存修理実施のため令和 6 年度末まで公開しておりません。

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋 1411 TEL 073-471-6123 FAX 073-471-6120  
HP/www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp Email/kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp



## 保存修理事業の流れ

令和4～6年度の三か年をかけて、3分割焼成の家形埴輪、胡籛形埴輪の保存修理事業を実施します。

令和4年度は受託者施設へ搬出し、事前調査、解体、クリーニングの作業をおこないました。次年度以降は、資料の接合・復元と補彩（補修材の着色）、保管台座や支持具の設計と製作をおこないます。



梱包



運搬

資料を適切に梱包し、美術品専用車により受託者施設まで運搬を行いました。



事前調査・記録 \*



解体 \*

修理前に事前調査を行い、状態を確認します。解体は、小型グラインダーやカッターで復元部の補修材を丁寧に除去しました



クリーニング \*



解体状況 \*

目視できない亀裂などはX線画像で確認します。破片の断面に残った接着剤や補修材などを竹串や小筆を用いて除去するクリーニングを行いました。

\* 写真提供 (公財) 元興寺文化財研究所

## 令和4年度の保存修理